

清瀬 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地歴科 科目 世界史探究

教科： 地歴科 科目： 世界史探究 単位数： 6 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： (組： 大月

使用教科書： (世界史探究 (山川出版社))

教科 地歴科 の目標

【知識及び技能】 通史としての完成を目指し、各単元ごとに確認テストを行い、実力の育成を図る。年度途中から問題演習を取り入れ知識をアウトプットできる力を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】 歴史の事象を単なる暗記とせず、歴史の法則性を地域時代登場人物が変化の中で同様の行動を行うことから推測し、歴史を先見の為に活用できるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 各基本問題への取り組みから主体性を判断し、みんなができる状況を繰り返し学習で醸成する。先を予測する能力を身に着けることで人間性を育てることにつなげる

科目 世界史探究 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各定期考査を中心に知識を図り、先に行った考査範囲を以降の考査に加算して出題することでその場だけの知識とせず繰り返し学習を継続する。通史として完成させることで歴史の全体像をつかみ、時代ごと事象ごとの意味合いを考えさせる	単元ごとにその事象がどのような意味合いを持つのか。事象ごとに考えさせる。また、考えたことを発現させることで自ら考える力を育成し、個人としての判断力も高める。	各国史で学ぶと同時に周辺国との関係がどのような影響を及ぼしているかを理解させ、縦の歴史だけでなく、横の歴史を意識することで歴史に深みを持たせる。歴史的事象を理解することで他者への理解をもって人間性を高める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1編 さまざまな地域世界 序章 文明以前の人類 第1章 オリエン特世界と東地中海世界 第2章 地中海世界と西アジア 3章 南アジア世界 第4章 東アジア世界 第5章 中央ユーラシア世界	○人類の進化、石器時代の進展から生産経済の進展を学び、分業の成立から社会構造の変化と文明・国家の成立の過程を確認し、歴史時代へのつながりを理解させる。 ○オリエン特世界では、乾燥地帯の大河流域に農業を基盤とする大國が生まれたことを理解させる。また、交易を中心とした地中海世界の成立、およびヨーロッパ文明に影響を与えたギリシア・ヘレニズム世界の成立・発展を理解させる。 ○ヨーロッパ文明に影響を与えたローマの成立・発展と、地中海世界の崩壊、および西アジアについて理解させる。 ○南アジア世界の多様性を民族・身分制・社会構造・宗教・南北の地域差の視点から理解させる。また、ゼロの概念にみられるインド文化の先進性を学ばせる。○古代文明の発生から、春秋・戦国時代の変動期を経て、さまざまな思想・文化が生まれたことを理解させる。また中国統一國家と周縁諸國が成立し、それらが政治的・文化的に結びついていたことを理解させる。	a, 関心・意欲・態度 b, 思考・判断 c, 資料活用 の技能・表現 d, 知識・理解 ノートチェック、定期考査 a, 関心・意欲・態度 b, 思考・判断 c, 資料活用 の技能・表現 d, 知識・理解 ノートチェック、定期考査	○	○	○	30
	定期考査			○	○		1
	第5章 中央ユーラシア世界 第6章 東南アジア世界 第7章 アフリカ、オセアニア、古アメリカの地域世界 第2編 広域世界の形成と交流 第8章 イスラーム世界の形成	○スキタイ・匈奴など騎馬遊牧民の興亡を軸に遊牧國家・オアシス國家の成立から、トルコ化・イスラーム化までの動きとイメージを理解させる。 ○港市國家の成立の背景にある、気候・地理的特徴に着目させる。インド・中国の影響を受けながらも各地域において発達した独自の文化や諸國の興亡を理解させる。 ○アフリカ・オセアニア・古アメリカの独自の文明や諸國の興亡を理解させる。イスラームの誕生・拡大をアラブ人による征服の段階と、多くの民族に受容されたイスラーム帝國の時代とに区分して理解させる。またイスラーム文化を各地域の文化を吸収した高度な文明として総合的に捉えさせる。 1学期のまとめ	a, 関心・意欲・態度 b, 思考・判断 c, 資料活用 の技能・表現 d, 知識・理解 ノートチェック、定期考査	○	○	○	38
	定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>第10章 東アジア世界の変容とモンゴル帝国 第11章 海域世界の発展と東南アジア 第12章 大交易時代 第13章 ユーラシア諸帝国の繁栄 第14章 近世のヨーロッパ</p>	<p>○唐の滅亡後、新興勢力が勃興して東アジア世界が多極化したことを理解させる。○モンゴル世界帝国の成立過程・国家システムがウルスの集合体として成り立ったものであり、多元的・開放的な性格をもつものであることを理解させる。 ○南シナ海からインド洋・地中海へと至る物流・人の交流が世界の一体化への基盤となったことを理解させる。 ○15世紀における東南アジア「商業の時代」、そこにヨーロッパ勢力がアフリカ・アメリカを結び付けて近代へと向かう動きを理解させる。 ○明・清の成立過程と東アジアの日本・朝鮮・台湾など周縁国家との関係を理解させる。また東南アジアへの華人・ヨーロッパ人の進出を学習するのと同時に、イスラーム各王朝の動きとインド洋貿易ネットワークを学ばせる。 ○イギリス革命・各宗教戦争から、ウェストファリア条約に至る具体的事例を通じて各国の動向と国際関係を学ぶ。あわせて優位に立ったイギリスにおいて、世界最初の産業革命が起こる条件が整ったことを学ばせる。</p>	a, 関心・意欲・態度 b, 思考・判断 c, 資料活用 の技能・表現 d, 知識・理解 ノートチェック、定期考査	○	○	○	80		
	<p>受験講座</p>	<p>受験対策</p>	a, 関心・意欲・態度 b, 思考・判断 c, 資料活用 の技能・表現 d, 知識・理解 ノートチェック、定期考査	○	○	○	60		
							合計	210	
3 学 期									